

将棋部門実施細目

- 1 開催日時 令和3年11月20日(土) 11:30～17:30
21日(日) 8:30～12:45
- 2 会場 滋賀県立県民交流センター ピアザ淡海
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20
TEL 077-527-3315 FAX 077-527-3319
- 3 一般公開 一般の観覧はできません。出場生徒と関係者のみ観覧可能です。
- 4 部門担当者 〒525-0036 滋賀県草津市草津町1839
滋賀県立湖南農業高等学校内 将棋部門
担当 山本 祐樹 (やまもと ゆうき)
TEL 077-564-5255 FAX 077-562-1186
E-mail soubun.syougi@pref-shiga.ed.jp

5 日程・次第

(1) 日程

令和3年11月20日(土)

11:30～12:00 受付

12:00～12:20 開会式

12:30～17:30 対局

女子団体戦は総当たり3回戦まで。その他の部門は決勝トーナメント1回戦まで。

14:00～16:00 指導対局

15:00～16:00 各府県事務局会議 301会議室

令和3年11月21日(日)

8:30～9:00 受付

9:10～12:00 対局

女子団体戦は総当たり4回戦から。その他の部門は決勝トーナメント準々決勝(種目によっては準決勝)から。

9:00～12:00 指導対局

12:15～12:45 閉会式

*大会の進行状況により、時間が変更になる場合があります。なお、車での来場は御遠慮ください。

*新型コロナウイルス感染防止のため、一般の方の来場は御遠慮ください。

*保護者の方の来場につきましては、各府県将棋専門部の指示に従ってください。

(2)式次第 (敬称略)

開会式

- ① 開会のことば
 - ② あいさつ 滋賀県高等学校文化連盟 将棋部会長 清水 順二
 - ③ 講師紹介 滋賀県高等学校文化連盟 将棋部会理事 山本 祐樹
 - ④ 競技方法説明・諸注意 審判長 細川 努
 - ⑤ 閉会のことば
- 諸連絡

閉会式

- ① 開式のことば
 - ② あいさつ 滋賀県高等学校文化連盟 将棋部会長 清水 順二
 - ③ 成績発表・表彰 滋賀県高等学校文化連盟 将棋部会理事 山本 祐樹
 - ④ 講評 日本将棋連盟棋士 安用寺 孝功 七段
 - ⑤ 閉式のことば
- 諸連絡

6 競技種目 男女団体戦 各府県代表 1 チーム (3名で構成)

| | | |
|-------|-----|-----------|
| 男子個人戦 | S 級 | (各府県2名以内) |
| | A 級 | (各府県2名以内) |
| | B 級 | (各府県2名以内) |
| 女子個人戦 | S 級 | (各府県2名以内) |
| | A 級 | (各府県2名以内) |

○団体戦を(補欠を含む)と個人戦を兼ねて出場できません。

○大会運営上、開催県は参加人数が増えることがあります。

○団体戦については、補欠生徒の登録を2名まで認めます。(登録外の生徒は出場不可)

7 表彰

各種目とも第1位から第3位まで表彰します(3位決定戦は行いません)。

8 交流会(指導対局)

指導対局 公益社団法人日本将棋連盟 安用寺 孝功 七段
石本 さくら 女流二段

9 競技方法

(1) 競技方法について

*当日、発熱等による選手の急な欠席や辞退があった場合、予選リーグの組み合わせを変更することがあります。運営上、御了承ください。

ア 4名(チーム)または3名(チーム)による予選リーグの後、決勝トーナメントを行います。

イ 予選リーグは、下記のとおり実施します。(3人リーグの場合は、不戦勝が生じます)

- ① 1局目の勝者同士で2局目を行い、その勝者は予選通過。
- ② 1局目の敗者同士で2局目を行い、その敗者は失格。
- ③ 2局目の後、1勝1敗同士で改めて抽選の上対局し、勝者は通過、敗者は失格。
(同じ予選リーグの生徒は対戦しません)

ウ 予選リーグでは同一府県どうしの対戦はありません。

エ 予選通過が決定した生徒(チーム)から決勝トーナメントの抽選を行います。ただし予選リーグの対戦を考慮します。なお同一府県どうしの対戦は行いません。

オ 女子団体戦は、総当たり戦で実施します。【チーム数によって変更の可能性あり】
順位の付け方は次の通りとします。

1、2チームが同じ成績の場合は直接対決の勝者を上位とします。

2、3チームが同じ成績の場合は次の基準で順位を決定します。

【優先順位は a→b→c→d】

a、各チームの個人総勝ち数 b、主将の総勝ち数 c、副将の総勝ち数

d、三将の総勝ち数

abcdの基準を適用しても優先順位に差異が生じない場合は、主将による抽選で順位を決定。

(2) ルール

1、高等学校文化連盟全国将棋専門部の対局規定に沿って行います。千日手は先手後手入れ替えて指し直しとする。指し直し局は残り時間を継承します。ただし、残り時間を考慮して改めて設定することがあります。その判断は審判長に委ねます。千日手が1度の対局で2回生じた場合は、抽選で勝敗を決めます。

2、持将棋の成立は審判長の判断に委ねます。勝敗は27点法(大駒5点、小駒1点)で得点の高いほうを勝ちとします。同じ得点の場合は、後手の勝ちとします。また入玉宣言法を採用します。双方入玉模様となっていなくても、対局時間が著しく経過した場合は、審判長は勝負の判定をすることができることとします。

3、禁じ手などの問題が生じた場合は速やかに審判に申し出てください。

4、団体戦で補欠の選手が出場する場合は、欠席者のオーダー位置に補充してください。参加申込のオーダー順に変更の無いようにしてください。欠員が出た対局は不戦敗とします。

同じ位置の選手が双方欠場し、1勝1敗となった場合は抽選で勝者を決めます。

5、先手後手は振り駒で決め、団体戦は主将が振り、副将以降は交互に先後となる。

6、持ち時間はそれぞれ15分。使い切ると1手30秒の秒読みとします。時間が切れると負けとなります。対局時計の位置は後手が決めてください。

10 救護

- 1、救護が必要な場合は、係員に申し出てください。
- 2、救護室は205会議室です。
- 3、会場から医療機関への移送には、参加校関係者の付き添いをお願いします。
- 4、医療機関における医療費および移送費、受診にかかる費用は受診者の負担となります。

11 諸注意および連絡事項

- 1、対局者の迷惑となる行為を慎むこと。
- 2、対局場ではスマートフォンや携帯電話などの電子機器の電源を切ってください。
*対局者が対局中に使用した場合は反則負けになります。対局者以外の方も、対局場周辺では使用しないでください。
- 3、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対局前後には手洗いや消毒を行ってください。
*会場の6階～10階は新型コロナウイルス感染者の宿泊療養施設となっております。大会使用場所の安全は担保されておりますが、立入禁止区域には入らないようにお願いいたします。
*参加者は、開催14日前から体調や体温について記録し、当日受付にて提出してください。
なお、当日も必ず検温をしていただき、体調に問題がないことを確認のうえ来場してください。
*ホームページに掲載される第41回近畿高等学校総合文化祭における新型コロナウイルス感染症対策および、高等学校文化連盟全国将棋専門部の「新型コロナウイルス自粛後の大会再開ガイドライン」に基づいて開催します。

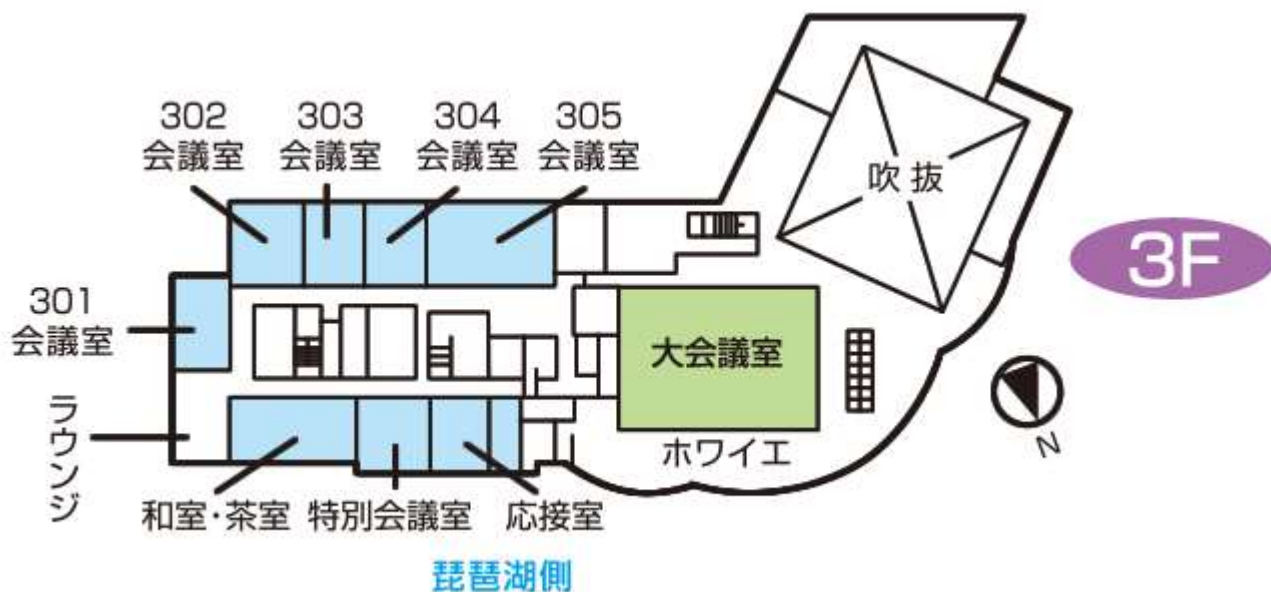
【留意点】

- ・発熱や風邪等の症状がある場合は顧問に報告のうえ、出場を辞退する。
(引率者等も発熱や風邪等の症状がある場合は、従事しない)
 - ・会場では必ずマスクを着用する。
 - ・対局後は感想戦を行わず、速やかに結果を報告し、密にならないように配慮する。
 - ・対局開始は礼のみ。投了は言葉を発してもよい。
- *感染対策として対局会場に入室できるのは、対局者と大会運営者とします。
引率者等は207会議室など控室で待機してください。
- *会場や控室等は換気を随時行いますので、各自で防寒対策をとってください。
- 4、ゴミは各自で持ち帰ってください。また、対局会場での食事は御遠慮ください。
 - 5、貴重品など荷物の管理は、各自で行ってください。

1 2 参加校一覧

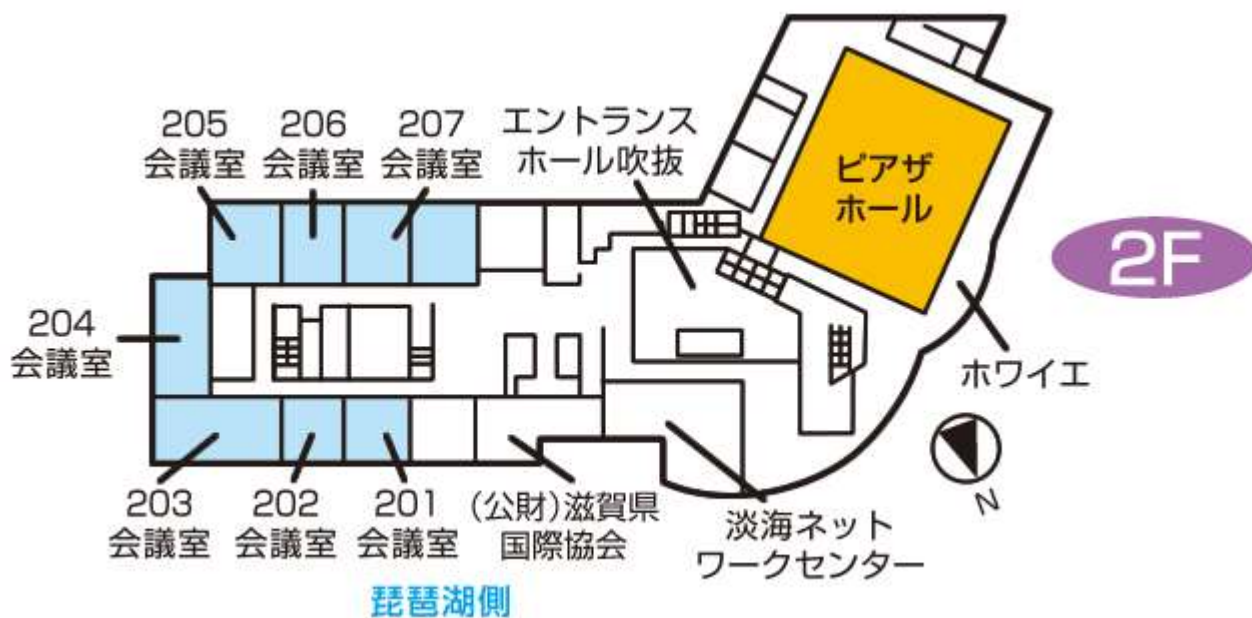
| 府県名 | 学 校 名 | |
|----------------|--|---|
| 和歌山県 計 5 校 | 和歌山県立和歌山北高等学校西校舎 和歌山県立海南高等学校 和歌山県立橋本高等学校 | 和歌山県立田辺工業高等学校 和歌山県立那賀高等学校 |
| 三重県 計 5 校 | 高田高等学校 暁高等学校 三重高等学校 | 三重県立伊勢高等学校 三重県立桑名工業高等学校 |
| 福井県 計 7 校 | 福井県立金津高等学校 福井県立藤島高等学校 福井県立高志高等学校 福井県立武生高等学校 | 福井県立若狭東高等学校 北陸高等学校 福井工業高等専門学校 |
| 鳥取県 計 3 校 | 鳥取工業高等学校 鳥取敬愛高等学校 | 米子東高等学校 |
| 兵庫県 計 1 0 校 | 灘高等学校 白陵高等学校 兵庫県立加古川西高等学校 須磨学園高等学校 甲南高等学校 | 兵庫県立加古川北高等学校 市川高等学校 兵庫県立西宮高等学校 東洋大附属姫路高等学校 兵庫県立尼崎稲園高等学校 |
| 大阪府 計 9 校 | 阪星光学院高等学校 大阪府立農芸高等学校 上宮高等学校 大阪府立春日丘高等学校 高槻高等学校 | 関西大倉高等学校 大阪商業大学堺高等学校 明星高等学校 大阪学芸高等学校 |
| 徳島県 計 8 校 | 徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校 徳島県立脇町高等学校 徳島県立鳴門渦潮高等学校 徳島県立川島高等学校 | 徳島市立高等学校 徳島県立城南高等学校 徳島県立城東高等学校 徳島県立富岡西高等学校 |
| 京都府 計 1 0 校 | 京都府立洛北高等学校 洛星高等学校 立命館高等学校 京都府立鳥羽高等学校 京都府立南陽高等学校 | 龍谷大学付属平安高等学校 洛南高等学校 京都文教高等学校 京都府立嵯峨野高等学校 東山高等学校 |
| 奈良県 計 6 校 | 奈良県立奈良高等学校 奈良県立青翔高等学校 東大寺学園高等学校 | 奈良学園高等学校 天理高等学校 奈良学園登美ヶ丘高等学校 |
| 滋賀県 計 6 校 | 立命館守山高等学校 滋賀県立草津高等学校 綾羽高等学校 | 光泉カトリック高等学校 比叡山高等学校 滋賀県立玉川高等学校 |

ピアザ淡海館内図



- | | | | |
|---------|-----------------|---------|---------------|
| 大会議室 | ・ ・ 対局会場 | | |
| 301 会議室 | ・ ・ 府県専門部会議 | 304 会議室 | ・ ・ 指導対局 |
| 302 会議室 | ・ ・ 荷物置き場 他府県控室 | 305 会議室 | ・ ・ 滋賀県生徒控室 |
| 303 会議室 | ・ ・ 滋賀県教員控室 | 応接室 | ・ ・ プロ棋士、来賓控室 |

*上記以外の部屋を使用することは御遠慮ください。



- | | | | |
|---------|---------|---------|-------------|
| 205 会議室 | ・ ・ 救護室 | 207 会議室 | ・ ・ 他府県教員控室 |
| 206 会議室 | ・ ・ 筆耕 | | |

*上記以外の部屋を使用することは御遠慮ください。

高等学校文化連盟全国将棋専門部 大会規定

*本規定は、日本将棋連盟の対局規定に準じて、以下のように定める。

(1) <手合い>

全局、平手戦にて行う。

(2) <先手・後手の決定>

振り駒とする。団体戦は主将が振り、交互に先後となる。または団体戦は申し込み時の同将同士の対戦とする（オーダーは変更できない）。

(3) <対局時計>

対局には対局時計を用い、その位置は後手番が決めることができる。時計は指した方の手で押さなければならない。

(4) <持ち時間>

持ち時間は15分～30分とし、使い切ると1手30秒の秒読みとする。持ち時間は全国高等学校総合文化祭将棋部門および全国高等学校文化連盟将棋新人大会内規に沿って設定する。

（秒読みの音声はブザーとする）

(5) <反則>

対戦相手に対して以下の行為があった場合、反則勝ちとなる。該当者は時計を止め、すみやかに審判に申し出ること。

ア 対局開始後、遅刻者の時間が切れる遅刻

イ 対局中、対戦相手以外の助言、批評を受けること。

ウ 禁じ手（二歩、打歩詰め、行き所のない駒、成れない駒の成りなど）

エ 二手連続の着手

オ 待った（駒から手を離したら、着手を変更できない）

カ 携帯電話・スマホ・タブレットPCなどあらゆる電子通信機器や機材を使用した場合

・反則の指摘は対局者のみが行うことができる（観戦者はしてはいけない）。

・反則の指摘は、指した直後でなくても、盤面に残っている場合（二歩、行き所のない駒など）は行うことができる。指摘した後、直ちに審判に申し出ること。

・投了後の反則の指摘は認めない（投了の優先）。

<注意：棋譜をとっている場合は棋譜の記録に従って反則をした側が負けとなる。>

(6) <千日手>

同一局面が4回発生した場合、千日手となる。時計を止めてすみやかに審判に申し出ること。同じ対局で2回千日手となった場合は、以下のように対処する。

1回目：残り時間はそのまま、先後を交代して指し直す。

2回目：抽選により、勝者を定める。抽選方法は審判団に一任する。

(7) <持将棋>

双方入玉模様となった場合、審判の判断で持将棋が成立する。27点法（大駒5点、小駒1点）で、ポイントの多い方を勝ちとする。ただし、同点の場合は後手番の勝ちとする。合わせて入玉宣言法を採用する。

(8) <審判長による勝負の判定>

双方入玉していなくても、対局時間が著しく経過した場合、審判長は勝負の判定をすることができる。

(9) <マナー>

以下の行為は慎むこと。

- ア) 対戦相手の迷惑となるような行為 イ) 対局場内での飲食
ウ) 対局場内で騒がしくすること エ) 対局者の迷惑となるような行為
オ) 対局時計を指した手と逆の手で押すこと

(10) <その他>

問題が生じた場合は、時計を止めて対局を中断し、すみやかに審判に申し出て、審判団に一任すること。審判団はトラブルが生じた場合の裁定の全権限を持つ。審判の任務と権限はあらかじめ明示しておくこと。

*審判の権限

- ・対局者から反則の指摘があったとき、それを判断すること。
- ・マナーが悪い生徒がいた場合、注意し、直らないときは負けを宣告すること。
- ・持将棋や千日手の判定を行うこと。